

石川舜台 いしかわ しゅんたい 僧侶。天保十二年十月八日加賀國金澤生れ、昭和六年十一月二十一日歿（八四—一九三）。字敬輔。號節堂。文久二年兼本願寺高倉學寮の學頭。明治初年慎惠塾を開き、子弟を教授。五年大谷光瑩の歐米視察に随行。その後朝鮮、支那開教に努め、各地に布教所、學堂を開設した。大谷派の長老として要職を歴任し、ゆかり名處分を受く。『政教小議』（明治二十一年六月十四日京都・法藏館）等著述多数。

『傑僧石川舜台言行録』（鹿野久恒編、昭和二十六年二月五日石川・佛敎文化協會）がある。